

(別添4)

【小金井市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

一人一台ICT端末を活用した写真や動画等による教材提示や教育支援アプリ等を活用したドリル学習など、個々の子供の習熟の程度や認知特性に応じた学習の充実を図る。

様々な情報及び意見の交流や活用、共同編集機能を使った活動を取り入れた学習の実施、学習結果の発信など、協働学習の充実を図る。

上記の取組を通して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。

2. GIGA第1期の総括

GIGA第1期において、一人一台ICT端末を用いた授業改善に取り組んできた。まずは学校で活用することを目指し、研修会の開催や活用事例の共有を行った。各学校において、授業や学級活動、委員会活動など様々な場面において活用されるようになった。

次に、より効果的な活用について検証を進めた。ICT端末を使うことで児童・生徒の学習がより深い学びにつながるように、活用方法や場面の検証をおこなった。

一方、校種や学校間、教員間の活用率や活用内容に差がみられるのが課題となった。

3. 1人1台端末の利活用方策

ICT端末が文房具のように日常の学びで効果的に活用できるようにしていく必要があると考える。児童・生徒中心の学びとなるように、自ら学び方を選択することや、協働的な学びにつながるようにICT端末を活用していく。

学びの保障の視点からも、不登校児童・生徒がICT端末を活用し、オンラインやメタバース空間で授業に参加したり、課題に取り組んだりできるようにする。